

七転八起

恥を繰り返し強くなるんだよ。っていう

か恥もかかずに強くなれると思うな！

(ドラマ 3年A組)

第2号

2019年5月13日発行

入学式から一ヶ月が経過しました。学福で過ごした最初の一ヶ月、長く感じましたか？それともあっという間でしたか？授業や部活動も本格的に始まり、知らず知らずのうちに皆さんの身体には疲れが溜まっているのかもしれませんが、そんな時に気を付けたいのが五月病です。実際に「五月病」という名前の病気はありませんが、一般的には新入社員や皆さんのような新入生が4月から始まった新しい環境にうまく適応することができず、不安な気持ちになったり、やる気がなくなったりして、ゴールデンウィーク明けから少しずつ休みが増えることをそのように言います。

今月から授業は本格的になり、また、遠足や新体力テストなどの行事も入ってきます。十分な睡眠をとり、お風呂にゆっくり浸かるなどのリフレッシュをして、気持ちに緩みが出ないようにしてもらいたいです。まだ皆さんの高校生活は始まったばかりです。元気に、楽しく過ごしましょう！

5月21日(火)は遠足です。私たち1学年は裏磐梯へ行き、トレッキングとバーベキューを行うことになりました。今回号では遠足の日程とコースをご紹介します。当日の大まかな流れを予習しておきましょう。

～日程～

8:10 福島県文化センター駐車場に集合 ⇒ 8:20 出発 ⇒ 10:30 裏磐梯高原駅に到着予定

10:40～トレッキング ⇒ 12:00～五色荘にてバーベキュー ⇒ 14:00 出発 ⇒ 15:40 本校前に到着＆解散予定



今回の遠足には2つの目的があります。

✳1つ目はトレッキングを通して、自然に親しむことです。

トレッキングとは、簡単に言うと「山歩き」のことです。山頂を目指す「登山」とは違い、山の中を歩きながら自然や風景を楽しむことを目的としています。今回は、「五色沼自然探勝路」という、約 3.6 kmのコースをトレッキングします。時間はおよそ1時間 10 分程を予定していますが、天候や休憩時間の配分によって前後します。慣れない山道を長時間歩くので、当日は動きやすい服装、そして歩きやすく履き慣れた靴で参加しましょう！

✳もう1つはバーベキューをしながらクラスメイトと親睦を深めることです。

今回は「五色荘」という宿泊施設のバーベキュー施設を利用します。雨天でも実施でき、道具や食材などが全て用意されているので、あとは皆さんが焼いて食べるだけです。たくさん食べながら、1人でも多くのクラスメイトとの交流を深めましょう。

日付	予定
5月21日(火)	遠足
23日(木)	生徒会総会、尿検査(2次)
29日(水)	新体力テスト
6月1日(土)	衣替え
18日(火)	前期中間考査(21日(金)まで)
21日(金)	校内進路ガイダンス

保護者の皆様へ
保護者の皆様、先日は授業参観、PTA 総会、学級懇談会に多数のご出席をいただきましてありがとうございました。学級懇談会においては、いくつかのご質問をいただき、保護者の皆様にも本校の教育方針をご理解いただけましたものと感じております。今後もご協力くださいますようお願い申し上げます。

- ご連絡とお願い
- 先日、PTA 活動参加について(お願い)のプリントを配布いたしましたが、本校では一人一役という形で、PTA 活動の参加をお願いしております。また、各クラスより「進路委員」「健全委員」「広報委員」をそれぞれ1名以上選出しなければなりませんので、担任からご連絡がありました折には、ぜひともご協力をお願いいたします。
 - 先日、年度初めの諸経費の納入に関するプリントを配布いたしました。何かと出費が嵩む折、大変恐縮ですが、内容をご確認のうえ、期日までにクラス担任へ納入願います。

数年前のゴールデンウィークに部活動の練習試合で喜多方を訪れました。その帰りに「道の駅裏磐梯」へ立ち寄り、名物のそばソフト（そばのソフトクリーム）を食べながら歩いていると、小さな骨董市が開かれているのを見つけました。そこで私の目を引いたのは、古銭でした。古銭を手に取りながら、３００年以上も前に生きていた方々が製造し、その当時流通していた昔のお金が今の時代に残っているなんて、まさに悠久の歴史ロマンを感じずにはいられませんでした。

そして、私は江戸時代に流通していた「寛永通宝」、江戸時代末期から明治時代にかけて流通した「天保通宝」、昭和２４年に製造された「１円黄銅貨」と「国会議事堂がデザインされた５円」、昭和３９年の「東京オリンピック開催記念の１００円」と「板垣退助が肖像画に使用されている折れ目のない（新札状態）１００札」を購入しました。古銭は職員室の机の中に入れて、たまに眺めています。１００円札は透明のビニールに入れて、本の「しおり」として使っています。

さて、皆さんの小銭入れの中を少し覗いてみてください。小銭には、製造された年が元号とともに刻まれています。中には、昭和の元号が刻印されているものもあると思います。平成の３０年間を経て、令和へと改元されましたが、平成の前の元号にあたる昭和時代に製造された貨幣たちが今もたくさん世の中に流通し、その役割を果たしてくれています。きっと、１００年、２００年後も昭和や平成の貨幣をどこかの誰かが大切に保管していて、昭和や平成という時代に思いを馳せてくれることでしょう。

先月で平成の時代が幕を下ろし、今月から令和の時代の幕が開きました。今まさに、皆さんは時代の転換期を生きています。しかも、令和元年が高校入学という皆さんは、この年をいつまでも忘れることはないでしょう。私自身も平成元年度が中学校の入学でしたので、時折、頭の中で時代を計算するとき、そのことが思い浮かんできます。

さらに、令和は間違いなく皆さんの時代です。この時代を颯爽と生き抜くための知識や技術、また、それ以上に大切なことを本校の３年間で学べます。しかし、口を大きく開けているだけでは、餌は落ちてきません。自分自身から学ぶ姿勢を持ち、失敗を恐れず、挑戦をし続けた人だけが、令和時代の通行手形を手にすることができます。この３年間でどう過ごすのかは、皆さん次第です。令和という時代が皆さんにとって幸多き時代であること願ってやみません。

ありがとう「平成」。そして、よろしく「令和」。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を心から歓迎いたします。

皆さんが高校１年生になるまでには少なくとも１５年の歳月が必要でした。今の日本の教育制度では、１０歳で高校１年生になることはできません。成長には時間が必要で、ある一定の期間を経ないと次のステージに進めないようになっています。

私たちは、次のステージに辿りついたとき、過去のステージを振り返ることができ、そこで初めて「自分は成長した」ということに気がつきます。しかし、成長期間の真っ只中にいるときは「今、自分は成長している」と実感することは難しいでしょう。

おそらく、皆さんの目の前にあるのは、すぐに返さなければならない LINE の返信、明日までにやらなければならない宿題、数週間後に迫った試験の勉強、そして、口うるさい親や先生の小言、そんな現実ではないでしょうか。それでも私たちは日々、人生を送らなければなりません。そう、時間は待つてはくれないのです。

先日、私の敬愛する『みやざき中央新聞の水谷もりひと編集長』からこんな面白い話を教えていただきました。

《ある村にたいそう徳の高い偉いお坊さんが来て、何かすごい話をしてくださるというので、村中の人々が集まりました。そして、村にやってきたお坊さんはこう言いつたそうです。

「これから３年間、小石を拾いましょう。３年後、きっとあなたたちは喜び、そして悔しがるでしょう」

村の人たちは「はぁ？」と思いました。幸せになるいい話が聞けるのかと期待して来たのに、意味不明な話だったのでみんながっかりしました。それでも素直に小石を拾い集めた人がいました。

３年経ちました。ある人が一生懸命に拾い集めた小石はどうなっていたと思いますか？

小石は、全部ダイヤモンドに変わっていたのです。３年前にあのお坊さんが言った通り、小石を拾った人は大喜びしました。と同時に「もっとたくさん拾っておけばよかった」と悔しがりました。》

何の話かと言うと、これまで皆さんは親や先生、先輩から「面倒なこと」や「辛いこと」を含め、たくさんのアドバイスを受けてきたと思います。しかし、若い時は、そういう話を上の空で聞いていたり、「面倒だ」としか思えなかったりしますよね。

その時には、「何で、俺が」とか「私ばかり」って思うこともあるかもしれませんが。しかし、若いときに経験した「面倒なこと」や「辛いこと」は、ある一定の期間が過ぎると、必ずダイヤモンドの輝きを放つようになります。それこそが、皆さんを幸せな人生へと導いてくれる通行手形となるのです。

だから今、小石を拾いましょう。面倒くさがらずにたくさんの小石を拾いましょう。

将来、悔しがることのないように…。